

## 増補序文

既刊「牧野日本植物圖鑑」に増補を加へて更らに完全なものとした  
いと云ふ事は私が初版發行直後からの宿望であつてこれが爲には先  
づ以て原圖を用意することが必要で多年に亘つて畫家の諸君に依頼  
して書きためた圖は壹千有餘の多きに及んだ。先に昭和廿四年、廿  
五年の兩度に亘つて多少の増補を行つたが、これはその中の極めて  
一部分にすぎなかつた。私は從來から健康には人一倍自信を持つて  
ゐるつもりではあるが何分にも老齡と云ひその進行は思ふにまかせ  
なかつた。そこで若手新進の植物分類學者前川文夫、原寛、津山尙  
の三君に協力を求めたところ三君はそれぞれの職務に又研究に極め  
て繁忙な人達であるにもかかはらず心よく快諾され、以來この仕事  
は急速に促進され思ひの外早く今回ここに六百六十餘種に及ぶ大増  
補の完成を見るに到つた事は私にとつて何ものにも代えがたい喜び  
である。しかし勿論本圖鑑の改訂増補はこれを以て満足すべきでは  
なく學術の進歩に伴つて更らに充實を加へんことを期している。終  
りに臨み前川、原、津山の三君の深甚なる援助協力に對し又前述の  
原圖作製に渾身の努力を拂はれた畫家水島南平、山田壽雄、川崎哲  
也、山岸新緑の諸君、更らにそもそも最初本圖鑑が生れた當時から  
實に五十餘年の長きに亘つて常に變らざる交誼と援助をおしまれな  
かつた北隆館社長福田良太郎氏に厚く謝意を表する。

昭和三十年師走の日

牧野 富太郎

## おおにがな

*Prenanthes Tanakae Koidz.*

本州中部から東北地方の山地、多少湿地の  
処に生える多年生の草。高さ1m内外、地下に  
稍々細い根茎あり、先端から年々1本の茎を  
立てる。莖は直立し、普通花序以外に分枝せ  
ず、多少稜があり、硬い草質、平滑、屢々短  
かい毛がある。葉はヤマニガナに似て、より  
大きく、三角状箭形で葉身5-8cm内外、中  
部の葉は明瞭な狭翼の長柄を具え、両側に1  
-2対の欠刻あること多く、上部の葉は急に  
小形となる。頭花は円錐状、秋に開花、淡い  
樺色、径4cm位、総苞は緑色、内片は円筒  
形に集まり、長さ1.5cm、10-12片、外片は  
内片より遙かに短且つ狭い。瘦果は巾1mm  
の線形で長さ8mm内外。冠毛は汚白色、瘦  
果と大体等長。

## はなにがな

*Lactuca dentata Makino*  
var. *amplifolia* (Kitam.) Makino  
(=*Ixeris dentata Nakai*  
var. *amplifolia Kitam.*)

北海道南部から本州及四国の山地林野でニ  
ガナに散発的に混じている多年生草本。全体  
が大形で高さ40cmに達する。根出葉及び下  
部の莖上葉は濶大で、羽状に深裂し、ロゼッ  
トの時には屢々紫斑に着色し、この色と切れ  
込みとが美しいのでハナニガナの稱がある。  
初夏に上向した繖房状に枝を分ち、頂にニガ  
ナより大輪の頭花を開く。径2cmに近く、  
小花は8-10個、稀に白花品がある。シロバ  
ナハナニガナ f. *leucantha* (Hara) Makino  
(*Ixeris dentata* var. *amplifolia* f. *leucan-*  
*tha Hara*) という。

## くさのおらばのぎく

*Lactuca chelidoniifolia Makino*  
(=*Paraixeris chelidoniifolia Nakai*)

日光、大峰山脈及四国の亜高山の山中、岩  
石上の向陽の草地に生える草で、全体に白味  
あり、葉の切れ方と乳液の出ることとでクサ  
ノオウに似る。朝鮮、滿洲にも産する。高さ15  
-40cm、普通2年生であるが、大型のものは  
年内に花を開く。根は貧弱、莖の下部に近く、  
屢々多数の枝を開出する。全草に毛がなく、  
繊細の感が強い。葉は羽状に全裂、裂片は3  
-5対で、裂片には葉の基部に近い側に2-3  
の大形の欠刻様鋸歯があり、葉柄の基部両側  
には托葉様に小葉片がつく。秋、枝端に繖房  
様に黄色の頭花をつける。5小花より成り、  
径1cm、花後には頭花は下向し、瘦果は狭紡  
錘形茶色、4.5mm長。冠毛は白。

第 3236 図



き  
く  
科

第 3237 図



き  
く  
科

第 3238 図



き  
く  
科